

第16回 オオキンケイギク抜き取り作戦報告

日 時 2025. 05. 24(土) ※小雨決行
スケジュール 9:30現地集合 9:45~11:45作業 12:00 解散

1/14

- 1. 主催：**かさま環境を考える会・笠間市（環境政策課）・ごみを考える会
- 2. 協力団体：**①あたご四季の会 ②イオンリテール(株)・イオン笠間店 ③茨城県環境政策課+環境保全課 ④茨城電通 ⑤茨城トヨタ自動車 ⑥エチオピア未来の子供 ⑦キャノン化成 ⑧キャノンモールド ⑨ 常陽銀行 ⑩セキスイハイム工業 ⑪第一東宝ランド自治会 ⑫東京航空局東京空港事務所 ⑬トヨタモビリティパーツ ⑭ハタヤ商事 ⑮東日本高速道路株式会社 ⑯ビオトップ天神の里 ⑰星山地区自治会 ⑱エヌエス環境株式会社 ⑲ 三栄製作所 ⑳ダイナム茨城土浦店 ㉑友部コモンズ ㉒松山南団地 ㉓明治安田生命保険相互会社
(⑱~⑳の6団体は今回新規に参加 五十音順)
㉔笠間市新規採用職員+人事課 ㉕笠間市資源循環課・賛同笠間市民
- 3. 実施場所：**5月11日の調査結果により、添付1 オオキンケイギク成育分布図 に示す地域に決定。
 - ① A班 笠間東工業団地
 - ② B・C班 稲田石切山脈地区~本戸
 - ③ D・E班 笠間市総合公園~石井 (D班) 寺崎~下市毛団地~上加賀田 (E班)
 - ④ F班 岩間愛宕山~吉岡~上郷~市野谷 (自主活動)
 - ⑤ G班 第一東宝ランド団地付近 (自主活動)
 - ⑥ H班 星山地区 (自主活動)
 - ⑦ I班 ビオトップ天神の里 (自主活動 セイタカアワダチソウ抜き取り)
 - ⑧ J班 友部航空無線通信所内 (管理者 自主活動)
 - ⑨ K班 三栄製作所 (自主活動)
 - ⑩ L班 松山南団地 (自主活動)※自主活動団体 (F班~L班) は、各団体で決めた日に、決めた場所で行う。
- 4. 集合場所：**現地集合、現地解散。班分けと集合場所については詳細地図を当該協力団体に郵送または電送。
- 5. 作業要領と安全注意：**「実施要項」と「実施細則」を事前に協力団体に郵送または電送。
 - ① 班長は前日に担当場所を下見し、当日は作戦開始前に、作業要領と安全確保について あらためて説明する。
 - ② 班長及び班スタッフは抜き取り作業はせず、作業指示と安全確保に専従する。



B・C班 稲田石切山脈地区 作戦開始！



A班

オオキンケイギクについて



作戦開始!



深い草をかき分けながら



一つかみずつ袋に入れて



急斜面を登り切る



A班 成果を前に 作戦参加の皆さん



A班 成果を前に 作戦参加の皆さん

A班

場所：笠間東工業団地 主会場
 人員：32名 + 運搬担当4名
 採取数：オオキンケイギク 43袋
 セイタカアワダチソウ 他 10袋

- ・茨城県県民生活部環境政策課長が作業に参加された。
- ・セイタカアワダチソウやブタナ、ピロウドモウズイカなどの外来種も除去した。
- ・セイタカアワダチソウ他は1昨年36袋あったので、激減している。
- ・福田地区でアツミゲシの開花を見つけ、住人に説明して市の関係職員同行で抜き取った。



交通安全に注意して！！（総合公園で）



道路沿いの空き地 C班が担当



作戦開始直前



一齐に抜き取り開始



若い力が動きだす



想石さんの構内でも



B・C班 成果を前に 作戦参加の皆さん

B・C班

場 所：石切山脈地区（笠間総合公園に集合）

人 員：49 名

採取数：石切山脈地区 46 袋

本 戸 1 袋 合計 47 袋

- ・前日(株)想石さん前の旧道跡地を集積場所と駐車スペースとするため草刈りをしていたら住民から冷たいお茶の差し入れがあった。留守の民家にどう投函。
- ・市役所から(株)想石さんをお願いして、車6台分の駐車場を予約してお借りできた。
- ・作業上の注意等の説明は笠間総合公園で行った。
- ・作戦範囲は289号に沿って約1.5*。着手点を「奥」「中央」「手前」の3地点として人員を配置、中央（想石さん正門前）に向かって集結する形にした。

D 班



開会式はE班と合同で 総合公園



作業上の注意 総合公園



少なくなったオオキンケイギク 総合公園



セイタカアワダチソウは元気 総合公園



セイタカアワダチソウを抜く 1



セイタカアワダチソウを抜く 2



D班 成果を前に 作戦参加の皆さん

D 班

場 所：笠間市総合公園～石井

人 員：D班 29名

抜取数：オオキンケイギク	総合公園	4 袋
	石井	1 袋
	合計	5 袋

セイタカアワダチソウ	総合公園	42 袋
------------	------	------

- ・開会式はE班と合同で行い、D班が総合公園を担当。
- ・E班は最初から寺崎～下市毛に向かう。
- ・小里笠間市環境推進部長が作業に参加された。
- ・総合公園のオオキンケイギクはかなり減少した。



E班

小里部長のご挨拶 総合公園



笠間青年会議所入口付近で 寺崎

2025/05/24



青年会議所内の様子 寺崎



E班 成果を前に 作戦参加の皆さん 寺崎で



若者が高所で作業 下市毛



市営団地構内で 下市毛



E班 成果を前に 作戦参加の皆さん 下市毛

E班

場 所：寺崎～下市毛

人 員：16名

採取数：オオキンケイギク	寺崎	9袋
	下市毛	4袋
	合 計	13袋
セイタカアワダチソウ	寺崎	7袋
	下市毛	2袋
	合 計	9袋

・開会式は総合公園でD班と合同で行い、その後寺崎～下市毛の目的地へ向かった。

F 班



畑地の土手で 市野谷



道路脇の斜面で 上郷



お墓の敷地で 上郷



採石場ダンプ街道で 上郷



F班 作戦参加の皆さん

F 班 ※自主活動

場 所：愛宕山～上郷～泉～ 市野谷
 人 員：4名 あたご四季の会
 抜取数：5袋

- ・5/20に愛宕山の里山斜面の抜き取りを実施。
- ・5/24に上郷の日向地区や花園地区のお墓の斜面及び泉・市野谷付近の抜き取りを実施。
- ・岩間地区のほぼ全域をカバーする活動を継続している。
- ・民家の敷地にあるものも家人に断って、抜いている。
- ・オオキンケイギクは激減している。

G 班

写真なし

G 班 ※自主活動

場 所：岩間 第一東宝ランド自治会内
 人 員：3名 自治会有志
 抜取数：0袋

該当する外来植物はなかった。



H班

道路の法面で抜き取り



墓地敷地のオオキンケイギク



H班 成果を前に 作戦参加の皆さん

H班

※自主活動

場 所：星山地区自治会

人 員：6名 自治会有志

採取数：2袋+その他1袋

- ・県道109号線の法面、自治会公民館敷地や墓地などで抜き取り実施した。
- ・オオキンケイギクの生育数は減少している。



I班

草原に分け入って



抜き取ったものは一輪車に積み込む



成果を前に 作戦参加の皆さん

I班

※自主活動

セイタカアワダチソウの駆除

場 所：ピオープ天神の里

人 員：6名 天神の里を作る会

採取数：一輪車山盛り5台分（45L袋20袋と換算）

- ・3年前からこの時期にセイタカアワダチソウの抜き取りを実施している。
- ・抜き取ったものは農園用の堆肥として活用する。

J班



抜き取り前の状況 6/5



広大な敷地内で奮闘 6/5



抜き取り後の状況 6/5



2回目の抜き取り作業 6/12



J班 成果を前に 作戦参加の皆さん 6/5



J班 成果を前に 作戦参加の皆さん 6/12

J班

※自主活動

場 所：友部航空無線通信所

人 員：21名 管理者

抜取数：6/5 111袋

6/12 69袋

合計 180袋

・6月5日と6月12日 2回実施。

・昨年度より人数を増やして作業を行ったことで多くのオオキンケイギクを抜き取ることができた。

K班



抜き取り作業状況



外来種 ヒメジョオン

K班

※自主活動

場 所：(株)三栄製作所周辺
 人 員：38名 管理者
 抜取数：36袋 ヒメジョオンなど

- ・6月4日に実施。
- ・オキクヱグ、セイウアグが 判りとも見当たらないのでヒメジョオン他を抜き取る。



K班 成果を前に 作戦参加の皆さん

L班



通路脇のオキクヱグを抜き取る 1



通路脇のオキクヱグを抜き取る 2

L班

※自主活動

場 所：松山南団地
 人 員：8名 自治会有志
 抜取数：10袋

- ・5月25日に実施。
- ・今年度から自治会として取り組みを行った。
- ・抜取作戦については認知されていたが、オキクヱグの生態については分からないこともあったので、説明をしながら作業を進めた。



L班 成果を前に 作戦参加の皆さん

追加抜き取り



北関東道の側道で 住吉 5/26



友部JCTの側道で 5/26



笠間中学校付近の状況 6/4



八反山交差点付近で 6/9



こんなに少ない！！ 南小泉で 6/9



旧355号路側で 南小泉 6/9

追加抜き取り結果

日時	場所	人員名	抜取数 45ℓ袋		備考
			材料カケリ	アミゲン他	
5月26日	住吉橋～友部JCT	7	2		減少している
6月4日	笠間中学～石切山脈	3	5		石切山脈奥の方には まだある
	福田	3	8	7	民地に多数のケシがあり 抜取る
6月9日	八反山～南小泉	4	5		旧355路側 民地内も取る
	福田～柏井	2	4		
合計		19	24	7	

協力団体と参加者数・成果

11/14

45kg袋

班名と実施場所	協力団体	班人員計	採取数	
			オオキンケイギク	セイタカアワダチ
A班 笠間東工業団地 代表：吉武	県環境政策課(2名)+環境保全課(1名), 茨城電通(1名), 茨城トヨタ(5名), エチオピア未来の子供(3名), キヤノンモールド(8名), ハタヤ商事(1名), トヨタモビリティパーツ(3名), 友部 commons(1名), エヌエス環境株式会社(1名), 環境を考える会(3名), 笠間市環境政策課(4名), 笠間市資源循環課(3名)	36	43	10
B・C班 石切山脈地区 ・本戸 代表：増淵	イオン笠間店(1名), ダイナム茨城土浦店(8名), 明治安田生命保険相互会社笠間営業所(9名), 笠間市新規採用職員(14名)+笠間市人事課(2名), 賛同市民(2名), 環境を考える会(4名), C班：ごみを考える会(7名), 環境政策課(2名)	49 本戸	46 1	0
D班 笠間市総合公園 ・石井 代表：岸	キヤノン化成(11名), 東日本高速道路株式会社水戸管理事務所(14), 環境を考える会(2名), 笠間市環境推進部長(1)+環境政策課(1名)	29 石井	4 1	42
E班 寺崎～下市毛 代表：小林	常陽銀行(6), セキスイハイム(6名), 環境を考える会(2), 笠間市環境政策課(1名), 笠間市資源循環課(1名)	16 寺崎 下市毛	9 4	7 2
F班 代表：大山	あたご四季の会会員(4名) 愛宕山～上郷～市野谷 ※自主活動	4	5	
G班 第一東宝ラント団地	第一東宝ラント団地の有志(3名) 団地内 ※自主活動	3	0	0
H班 代表：細田	星山地区住人(6名) 星山地区内 ※自主活動	6	2	1
I班 代表：橋本	天神里を作る会(6名) 園内のセイタカアワダチソウ採取 ※自主活動	6	0	20
J班 友部航空無線通信所	管理者(延べ21名) 6月5日 敷地内のオオキンケイギク採取 6月12日 2回実施 ※自主活動	21	111 69	0 0
K班 三栄製作所	三栄製作所社員(38名) 会社周辺 ※自主活動 6月4日	38	0	36
L班 代表：岸	南松山団地の有志(8名) 団地内のオオキンケイギク採取 ※自主活動 5月25日	8	10	0
合計	主催団体数 協力団体数 3 25	名 216	袋 305	袋 118

追加抜き取り

日時と実施場所	協力団体	人員計	採取数	
			オオキンケイギク	アツメシシほか
5月26日	環境を考える会(7名) 住吉～友部JCT	7	2	0
6月4日	環境を考える会(3名) 笠間中学～石切山	3	5	0
	環境を考える会(2名), 環境政策課(1名) 福田地区	3	8	7
6月9日	環境を考える会(6名) 八反山～南小泉	4	5	0
	環境を考える会(1名), 環境政策課(1名) 福田～柏井	2	4	0
	合計	名 19	袋 24	袋 7

総合計

参加団体数	人員	オオキンケイギク		セイタカアワダチ他		総量	
28	235名	329袋	1573 Kg	125袋	467 Kg	454袋	2040Kg

主催3団体含め

1. 感想

- ① 笠間市及びかさま環境を考える会とごみを考える会が主催者で、茨城県県民生活部環境政策課及び笠間市環境推進部の参加を頂き、市環境政策課全職員及び資源循環課の協力と市新採職員の研修の場として定着し、笠間市をあげての行事として成長しているのは喜ばしい。
- ② 笠間市長より、オオキンケイギク防除に関する「従事者証」が交付されているので、その後の活動がやりやすくなった（1年間有効なので、秋の公民館祭りの際などにも現物を提示可能となった）。
- ③ 山口茨城県環境政策課課長補佐・小里笠間市環境推進部部長など、県及び市が真剣に取り組んでいるという姿勢が参加者に反映されていると考える。

- ④ 協力団体・参加者が年々増加していて、参加団体・地区は25団体と一般市民2名、合計216名（昨年は20団体と3名。合計180名）で実施して329袋+セイタカアワダチソウなど125袋（昨年は194袋+セイタカアワダチソウなど74袋）を収穫しました（これには、後日行われた、友部航空無線通信所の21名：180袋、天神の里のセイタカアワダチソウ；6名：20袋、三栄製作所の外来植物；38名：36袋。かさま環境を考える会会員延べ19名：24袋+アツミゲシなどの7袋を含む）。

なお、第一回目（2010年）以降の参加団体数（参加者数）及び収穫袋数は添付資料2に示している。

これにより、参加者数はコロナ禍などの要因で一旦減少したが、今回は最高になったことが分かる。

収穫袋数は必ずしも減少傾向にあるわけではない（年によって増減がある）が、それは、毎年、新たな生育地が見つかったり、新たな参加団体・地域が加わった事による増加と考えられる。

- ⑤ 昨年（第15回）の194袋が今年（第16回）は329袋に増えているが、友部航空無線通信所が2日にわたり21名が180袋（昨年は47袋）も抜き取って頂いた結果である。

各地区ごとに見ると、全体的に生育量は減少傾向にあるのは確かである（例えば、石切山脈地区では、昨年の61袋が今年は46袋など）（なお、作業が増えているため、各自の収穫量は袋が一杯になっていない場合も見受けられた）。

- ⑥ 第一東宝ランド団地は生育が見られなくなりず、南小泉～友部ジャンクション・南小泉・友部ジャンクション・岩間地区は激減している。

ちなみに、岩間地区は四季の会が地区全域に目を光らせ、活動されている結果と考えられるが、数年間、抜き取りを続けている場所は明らかに減少していると言える。

- ⑦ 笠間中学校運動場や笠間中学校周辺の私有地、石切山脈地区（稲田）の広場の生育地の一部が事前

に刈り払われていた。また、柿橋団地内公園の生育地は「既に除草予定」になっていることが分かるなど、周辺住民の関心が高くなっているのを感じた。

- ⑧ 石切山脈地区（稲田）の株式会社創石が、敷地内の駐車場を快く貸して下さった。また、「創石前の旧道跡地を駐車場にするため前日に草刈りをしていたら、近くの住人から冷たいお茶の差し入れがあり、嬉しくなりました」との報告もある。
- ⑨ 東京航空局東京空港事務所の方が友部航空無線通信所内でのオオキンケイギクの抜取り作戦に、自主参加され大量の抜取り成果（作戦成果総量の半数超の180袋）をあげられた。
- ⑩ 昨年よりセイタカアワダチソウは公園などを中心に抜き取っているが、抜き取りをしている場所では減少している。
- ⑪ 自主活動として、今年も第一東宝ランドや星山地区、友部航空通信所、ビオトープ天神の里、三栄製作所、南松山団地が参加して下さった。この傾向がさらに広がることを期待する。
- ⑫ 昨年より公園などを中心にセイタカアワダチソウなども抜き取っているが、抜き取りをしている場所では減少している。

2. 反省

- ① 抜き取り作業後の反省会で、「オオキンケイギクは減少していて、こんなに多くの人々の参加は必要なのではないか？」とか、「“オオキンケイギク抜き取り”と言って、セイタカアワダチソウを抜いてもらうのは心苦しい」などの意見が出た。

セイタカアワダチソウやブタナは“要注意外来生物”で、現在、笠間市内で繁茂しているため、在来種の生育の保全のためはオオキンケイギクと同等の意味があると考えられるので抜き取りを続けたい。ただ、参加者への明確な説明が必要であると考えている。

- ② この「オオキンケイギク抜き取り作戦」の主な目的は（1）オオキンケイギクを除去する。（2）参加者にオオキンケイギクの抜き取りの意味を周知する。（3）自分の住む地域のオオキンケイギク存在を知ってもらう。（4）外来生物が在来種や環境に及ぼす影響を多くの人に理解して頂く。（5）各自が身の回りの特定外来生物を自ら除去するようになることにある。
- ③ より多くの人々にこの活動の意義を伝えたいが、市の広報紙及び茨城新聞社以外に、この活動を取り上げて頂く報道機関がない。広報の手段を工夫する必要がある。

- ④ 笠間中学校付近にかなりの生育が見られ、数年前から「作戦日」の後日にかさま環境を考える会会員で抜き取りを行っているが、来年は当日の対象地区にしたい。
- ⑤ 準備日数を十分とるために、各団体・報道機関への連絡を早めることと、市内の生育状況調査と抜き取り実施日との間を2週間はとるようにしたい。

3. 課題

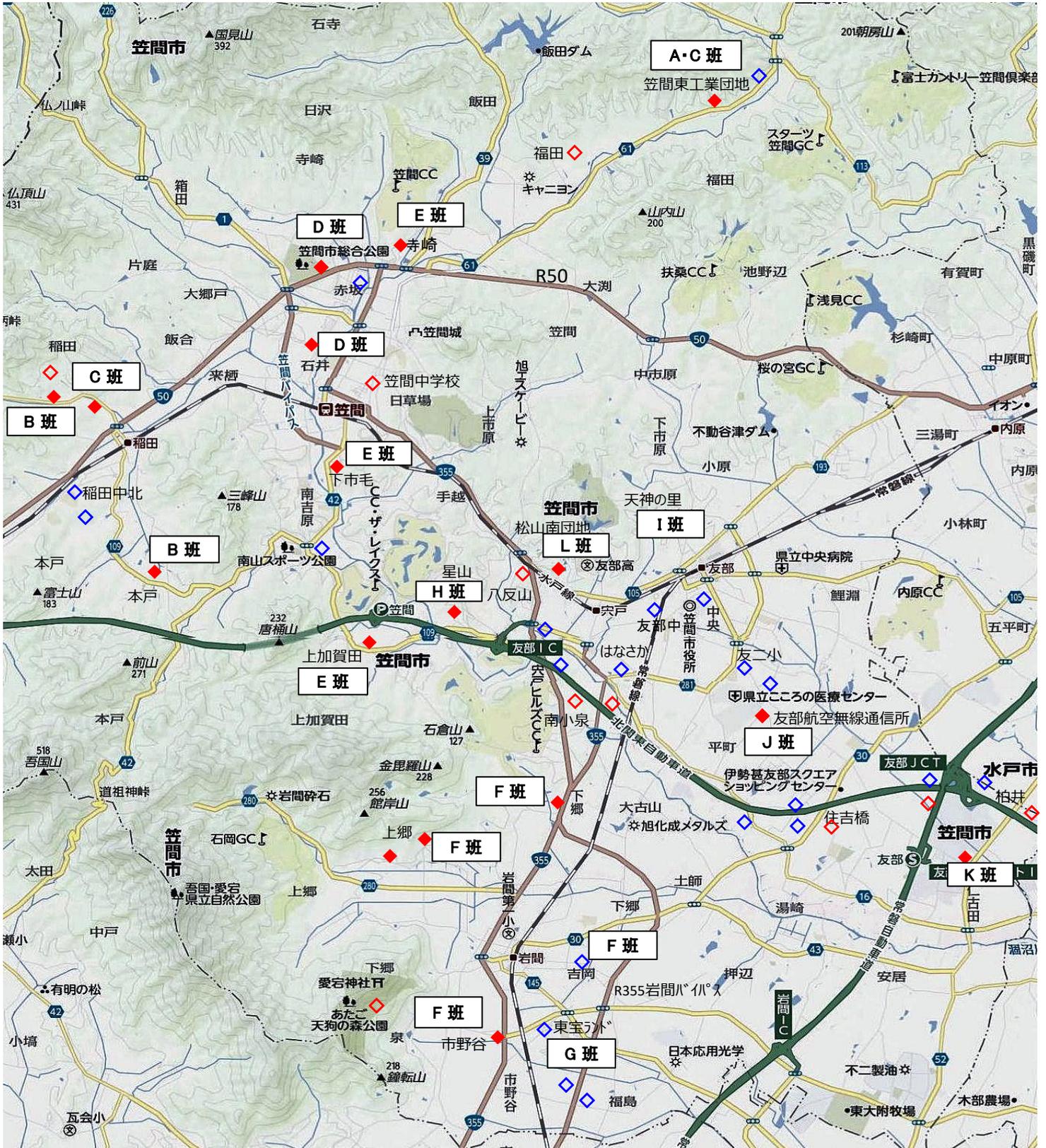
- ① まだ、空き家と思われる敷地内に生育している所が数カ所あること及び隣接市町に繁茂している所もあることから、“特定外来生物”の駆除の必要性を県全体に周知することが課題である。
- ② この「オオキンケイギク抜き取り作戦」の成果は出つつあると考えている。しかし、この目的を周知させ、より多くの人に理解して貰う工夫を考えたい。
- ③ 友部第二小学校に隣接する空き地（県有地）では、オオキンケイギクの結実前（5月下旬～6月中旬）に抜き取り、秋にも草刈りを続けたので、5～6年で効果が現れ、現在は殆ど見られなくなっている。これは、秋の刈り取りが効を奏していると考えられる。他の地区で秋の刈り取りを検討する必要がある。
- ④ 川畔を中心に特定外来生物のアレチウリが繁茂している。足場が悪いためこの「オオキンケイギク抜き取り作戦」のような方法は無理であるが、早急に対策を取る必要がある。
- ⑤ 市内で不法なアツミゲシが生育している。ある地区では生育量が多いため、市関係職員と数回にわたって抜き取ったが、今後も根絶のための見回り・抜き取りを欠かさないことと、抜本的な対応策の検討が必要である。
- ⑥ 「ほとんどの参加者が9時前に来ておられる」とか「この時期の気温上昇などを考慮して、開始時間を30分繰り上げては？」の提案があり、来年からは、“集合を現地で9時、作業を9:15～11:15、解散を終了次第か11:30、に変更したいと考えている。検討して、来年度の「参加依頼」までに決めたい。

※ 参加者数・抜き取り袋数などの数字は「協力団体と参加者数・成果」を参照。

オオキンケイギク生育分布 笠間市全図

- ◆ : 2025年抜き取り作戦地点
- ◇ : 材木の伐り点在
- ◇ : 生育がなくなった地点

2025.05.19更新



- 註1.A班は笠間東工業団地を担当する。セイワクワダノリ等も抜きとる。
- 註2.B班はC班と合同で石切山脈地区を担当する。朝の集合場所は笠間市総合運動公園とする。
余力が出たら、本戸を回わる。
- 註3.D班は笠間総合公園を担当する。セイワクワダノリも抜きとる。
E班は寺崎、下市毛、上加賀田を担当する。

⑩「特定外来生物 オオキンケイギク抜き取り作戦」を実施します

問・申 環境政策課(内線 125)

オオキンケイギクは、道路沿いなどで黄色い花を咲かせ、年々その量や生育地を拡大しています。この花は繁殖力が非常に強く、在来種に影響を及ぼすことから「特定外来生物」に指定され、植えたり移動したりすることが法律で禁止されています。

市では、「かさま環境を考える会」などの市民団体と協働で、今年もオオキンケイギクの抜き取り作業を行います。協力いただける方は、事前にお申し込みください。

また、道路沿いなどでオオキンケイギクを見かけたら情報提供をお願いします。

日時 5月24日(土) 午前9時～正午

申込方法 電話または右の二次元コードでお申し込みください。二次元コードで申し込みされた方には、申込時のメールアドレスに集合場所などを通知します。

申込期限 5月9日(金)



詳しくはこちら



申し込みはこちら

オオキンケイギクの特徴 多年生草本、高さ30～70センチメートル、花期5～7月頃、頭状花(直径5～7センチメートル)、黄橙色

処理するときの注意 根から引き抜き、種の飛散がないようにビニール袋などに密閉して入れて枯死させた後、燃えるごみとして処分してください。

※特定外来生物に関する法律、規制内容など詳しくは、環境省ホームページをご覧ください。

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/nature/intro/>

茨城新聞の紹介記事

2025.06.02付

笠間で外来植物除去 オオキンケイギク 200人が作業



オオキンケイギクを抜き取る参加者たち＝笠間市福田

栽培が禁止されている特定外来生物オオキンケイギクの抜き取り作業が5月24日、笠間市内で行われた。かさま環境を考える会と市、ごみを考える会が共催し、各会員をはじめ、協力する市民団体や事業所などから計約200人が参加した。

オオキンケイギクは多年草で5～6月に黄色の花を咲かせる。繁殖力が非常に強く、在来種に影響を及ぼすことから特定外来生物に指定され、植えたり、移動したりすることが法律で禁止されている。

同市での抜き取り作業は2010年に始まり、今回で16回目。参加者は13班に分かれ笠間東工業団地(福田)、市総合公園(箱田)、稲田石切山脈(稲田)などで約2時間ほど作業。群生する場所に分け入り、黄色の花を咲かせた株を根ごと引き抜き、ごみ袋に入れて種が飛散しないように密封。周辺に見当たらなくなるまで取り除いた。重点対策外来種であるセイタカアワダチソウも抜き取った。集めた株は市によって焼却処分した。

かさま環境を考える会の吉武和治郎会長(82)は「自分の周りであつたら抜いていただければ徐々になくなる。密植し背が高くなるので光が入らなくなり、在来種が負ける。継続して除去することが必要」などと話した。

お花を愛するみなさまへ

かさま環境を考える会

**写真のような花が、最近、花壇や
庭の片隅などに
紛れ込んでいないでしょうか？**

**このキレイな花が、実は
法律により、栽培が禁じられ、
駆除すべきとされている
特定外来生物「オオキンケイギク」
なのです。**

**見つけた場合は
駆除にご協力をお願いします。**



オオキンケイギクとは

北米原産のキク科の多年草で、明治期に、観賞用として日本に導入され、道路の法面の緑化などにも使われてきました。5月～7月には、黄色のきれいな花をつけます。

しかし、繁殖力が非常に強く、種子を風の力で遠くまで飛ばして広範囲に野生化し、日本在来の植物を圧迫する恐れがあると考えられるようになりました。

平成17年に施行された法律「外来生物法」により、平成18年に「特定外来生物」に指定され、栽培、販売、保管、移動などが、禁じられており、「駆除していくべきもの」とされています。

駆除方法

- ① 種子が飛散しないよう注意して、根を残さず引き抜く。**
- ② ビニール袋などに密閉して、燃えるごみとして処分する。**

※ オオキンケイギクが生えている場所を見つけた場合は、
市役所環境政策課にご連絡ください。

[問合せ] 笠間市環境政策課
TEL 0296-77-1101(内線125)

セイタカアワダチソウ



5月頃の草姿



満開の花詳細 10月中旬



群生して花をつける 10月中旬

キク科の多年草で草丈が3mにもなり、密生して日本の在来種を圧迫する。種子及び根茎で増え、根からアレロパシーという物質を出して他の植物の成長を抑えるという特技を持っている強敵。「生態系被害防止重点対策種」とされています。

駆除方法

- ① 根が地中を這いまわっているので、できるだけ残さず引き抜く。
- ② 秋に抜取る場合は花後の種子が飛散しないよう注意する。
- ③ 抜き取ったものはその場で腐らせるか、乾燥後燃えるごみで処分する。